

家庭教育力の強化を図る

子どもたちの健やかな成長のために 家庭・学校・地域と協働するPTA活動

常滑市立小鈴谷小学校PTA

1 はじめに

本校は常滑市の南部に位置し、開校150年以上の歴史があり、豊かな自然に恵まれた学校である。また、来年度から小学校の道徳教材に取り上げられる溝口幹が創設し、多くの偉人を輩出した鈴溪義塾に深いゆかりがある。

本年度の児童数は155名、学級数は10学級（通常学級6、特別支援学級4）、PTA会員数は105世帯の小規模校である。



【今も職員室前に掲げられる鈴溪義塾の看板】

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校は、鈴溪義塾の理念である「志」「学ぶ」「情熱」「恕（思いやりの心）」「忍びざるの心（人の不幸を見過ごしにできない心）」を大切にし、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指している。その実現のために、「小さな学校の大きな人づくり」をスローガンとして小規模校の良さを生かしながら教育活動に取り組んでいる。また、昨年度発足したコミュニティ・スクールの学校運営協議会は、PTA会長とPTA会員が所属する「子どもを守る会」の代表保護者が、学校運営協議会委員を兼任している。さらに、「小鈴谷小学校スクールサポーター」を地域や保護者から広く募集し、本年度は100名以上の方に登録していただいた。PTAの活動とコミュニティ・スクールの事業とを有機的に展開することにより、より多くのPTA会員が教育活動に関わる機会を増やすことができる。これにより、家庭・学校・地域が協働して家庭教育力を高め、子どもの健やかな成長を支えることができると考える。

(2) 組織と活動

本校のPTAは、5・6年PTA会員から選出される会長・副会長・家庭教育委員・書記・会計の役員会と、1～5年PTA会員から選出される常任委員10名により構成されている。常任委員会には、3～4年常任委員・5年部長・副会長・会計が所属する文化教養部と、1～2年常任委員・5年部長・家庭教育委員・書記が所属する健全育成部の2専門部会から組織されている。令和2年度までは、役員や常任委員を地区

ごとに選出し、3 専門部会で構成されていた。地区ごとの P T A 会員数の偏りや P T A 会員数全体の減少に伴い、持続可能な組織とするために、令和 3・4 年度で組織をコンパクトに改編し、選出方法も変更した。

活動の基本的な計画を役員会で立案し、専門部会で検討している。専門部会による活動の他に、「できるときに できる人が できることを」を合い言葉として、専門部会の垣根を越えて活動している。また、活動内容によっては、一般の P T A 会員からボランティアを募集したり、コミュニティ・スクール事業とリンクしたりしながら活動をしている。

3 実践活動の概要

(1) 子どもたちの安心安全のために

① 校外学習ボランティア

コロナ禍のため中止されていた校外学習を、本年度は実施している。そこで、子どもたちの安全確保を目的として、本年度から校外学習ボランティアを新たに募集した。P T A 常任委員会での趣旨を説明して協力を呼びかけた。5 月に実施した



【トトロの前でポーズ】

ジブリパークへの全校遠足では、P T A 役員・委員が各学年の校外学習ボランティアとして参加した。P T A ボランティアには、主に写真撮影を担当していただき、グループ単位での見学の付き添いなどもお願いした。また、学年で出かける町探検や校区巡りの校外学習にも、P T A ボランティアに付き添っていただいている。

② 交通安全教室

本校では、交通指導員や地域の駐在所員を招いて、全校児童を対象とした交通安全教室を実施している。4 月に 1・2 年生の歩行訓練、5 月に 3～6 年生の自転車訓練を行った。基本的な技能指導は交通指導員



【安全を確認して横断】

や警察官にお願いし、P T A ボランティアには訓練コースのポイントごとの見守りをお願いした。訓練後の反省会では、参加した P T A ボ

ランティアから、「思った以上にスピードを出して乗る子が多く、我が子を含めて安全な乗り方を日頃から心がける必要があると感じた。」
「今回の訓練に参加したことで、交通安全の大切さを家庭でも話すことが大切だと思った。」という感想が聞かれた。

(2) 子どもたちの学びを支えるために

① 図書館ボランティア

本校では、全学級を対象とした図書館ボランティアによる読み聞かせ活動を、毎月第2木曜日の朝に行っている。図書館ボランティアも、スクールサポーターの一つとして毎年、募集している。昨年度から継続して活動に参加しているPTA役員の呼びかけにより、本年度、新



【今日はどんな本かな？】

たに読み聞かせ活動に参加したPTA会員も増えた。ボランティアの方は、公共図書館へ足を運んで季節の行事にちなんだ物語や大型絵本などを準備し、毎回、子どもたちを楽しませてくださっている。

② 学習ボランティア

家庭科のミシン操作や調理実習などは、児童にとって不慣れな活動で、担任だけでは個別の指導が難しい。また、野外教育活動に向けての飯ごう炊飯は、かまどの火とカレー作りの両方を同時に指導する必要がある。これらの活動では、該当学年の保護者を中心とした学習ボランティアに子どもたちの活動を支援していただいている。中には、我が子とは別の学年の学習にも協力して下さっている保護者もいる。

(3) 子どもたちの豊かな心を育むために

① 運動会ボランティア

小規模校の本校では、PTA会員が、運動会の準備や後片付けでも大活躍している。特にテントや万国旗の設置は、子どもでは難しい。以前は、PTA役員・常任委員だけが担っていたが、本年度より一般のPTA会員からも運動会ボランティアを募集した。役員・常任委員を中心に、前日



【PTAパワー全開で準備中】

の準備や競技中の器具の出し入れ、後片付けなどに協力していただくことで、子どもたちが楽しみにしている運動会を盛り上げ、支えていただいている。

② もちつき会

もちつき会は、昭和51年度から始まり令和元年度まで、本校の伝統的行事として毎年開催され、保護者や地域の方々も強い思い入れをもっている行事である。令和2年度から3年間は、コロナ禍のため中止となった。本年度は、元PTA会長の協力者を迎えて、PTA役員が中心となって4年ぶりの開催を目指している。3年間の中止によりノウハウを知る関係者が少ない中で、伝統的な行事を継承するために、保護者や地域の方々から、もちつきボランティアを広く募った。12月に開催予定のもちつき会では、高学年児童が、保護者や地域の方々と交流しながらもちつきを体験する。高学年がついた餅を全校児童が味わう。つきたての餅をほおぼる子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、小鈴谷小学校の伝統を大切に思う児童の心を育てたいと考え、準備を進めている。

令和5年9月吉日

保護者の皆様へ
小鈴谷小学校PTA会長 齊藤 嘉浩

PTAもちつき会 ボランティア再募集について

初秋の候、ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校のPTA活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、PTAもちつき会を下記の通り計画しました。つきまわしは、もちつき会のスムーズな運営のため、ご協力いただけるボランティアを再募集させていただきます。当日、もちつきをするのは5・6年生の児童ですが、つきあがった餅を1～4年生の児童にも配り、つきたての餅を全校児童が味わいます。多くの保護者ボランティアや地域ボランティアに関わっていただくことで、小鈴谷小学校の伝統行事であるもちつき会を継承していきたいと考え、**全学年の保護者の皆様を対象として**、ボランティアを再募集させていただきます。ご多用のことは存じますが、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1 日 時 【前日】令和5年12月3日(日) 13:00～15:00
【当日】令和5年12月4日(月) 8:45～12:00

2 目 的 日本の伝統文化に親しみ、小鈴谷小学校の伝統を大切にすることを育む。

3 参 加 者 5・6年生児童、PTA役員・常任委員、もちつきボランティア
全学年のボランティア保護者(男性・経験者 大歓迎)

5 その他
・ご参加いただける方は、切り取り線以下の申し込み票を学校へ提出してください。
【提出期限：9月27日(水)】
・ご参加いただける方には、後日、改めてご案内させていただきます。
・お問い合わせ先 小鈴谷小学校 教頭(野田) TEL:0569-37-0021

PTAもちつき会 ボランティア申し込み票

参 加 者 氏 名	児 童 氏 名
	年 級

※役割決めの参考とさせていただきます。次の当てはまるところに、○をつけてください。

・もちつき会参加経験について 経験あり 経験なし

・参加可能日について 前日 当日

・可能な活動について 前日の準備 当日朝の準備(7:30～)

つき手 手返し 丸める 味付け 配膳

【もちつきボランティア大募集】

4 おわりに

PTA活動とコミュニティ・スクール事業とのリンクにより、「できるときにできる人ができることを」の合い言葉が浸透してきたと感じる。昨年度末のPTA活動に関するアンケートでは、「どの行事も強制ではなく、参加できる人が協力し合って無理なくできたのがよかった」という回答が多く寄せられた。また、「PTA活動を通して子どもたちにも、保護者が自分たちとの関わりを楽しんでくれていることが伝わるとよいと思う。『子どもたちの学校』から『私たちの学校』という思いをもって、誰でも参加しやすいPTA活動になるのが理想。」という意見もあった。100名を超えるスクールサポーターには、多くのPTA会員が登録している。活動を通して、PTA会員同士の交流も広がっている。

今後も、家庭・学校・地域と協働して活動を続けることで、子どもたちの健やかな成長を支えるPTA活動であり続けたい。